

第10回 漂着物の調査 開催報告

開催日 2023年10月14日 (土)



1. 遠州海岸の現状説明

SDGs|目標14 海の豊かさを守ろう|の取組みの一環として、「海洋・海洋資源の保全」について、身近な海岸の状況から共に考える講座を開催した。

◎講師：Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

2. 漂着ごみの調査

- ・10月8日回収@馬込川右岸河口 8袋分 **約21.7kg**
- ・漂着ゴミの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査対象45品目の個数を数えた。(破片は、直径2.5cm以上のものが対象となっています。)

回収量 合計907個

1位	発泡スチロール破片	272個
2位	食品容器(プラスチック)	162個
3位	飲料用プラボトル(ペットボトル)	154個
4位	硬質プラスチック破片	80個
5位	プラスチックシートや袋の破片	63個



3. 参加者の声

- ・海洋プラスチック問題やプラスチックごみについて授業で知っていたが、実際に自分の目で見て良い体験になった。(中3)
- ・漂着物の現状について知らなかったのでびっくりした。自分のできることを考えていきたいと思った。(中3)
- ・小学校3年生なので、どんなごみがあるのかだけでも知りたくて参加しました。被覆肥料にびっくり、メーカーなどの製造者の方も考えて欲しいと思った。知らなかったことを実際に経験できてよかった。
- ・体験する(海ごみを実際に見る事)という事は、現実を知ること。知らなければ、何の行動も起きないと思った。
- ・この講座には何度か参加しているが、毎回どうしてこのような状況になっているのか本当に残念な気持ちになります。自分にできることは小さなことではあるけれど、①ごみは確実に処理する ②プラスチック製品をなるべく使わないように工夫しながら生活をしていきたいと思ひます。

マイクロプラスチックが入った
ペットボトル

